

## ◆編集後記

第10回 POP コンテストにご応募いただいた作品は本館にて展示中です。ぜひ図書館で素敵な POP と読書をお楽しみください。(Tsushima)

表紙の写真は11月19日に撮影した図書館外観です。紅葉に雪が積もっている様子がとても綺麗でした。左側に映っているオープンテラス部分、夏場にパラソルを立てている場所ですが、かつてはここが図書館の入り口だったと思うと感慨深いです。(Maruyama)

本との出会いを楽しむ編集を担当しました。紹介された図書「ソロモンの指環」の原書が医学部分館の「ノーベル生理学・医学賞関連コレクション」として所蔵されています。歴代受賞者の関連する図書や別刷を図書館内限定ですが閲覧することができます。是非、利用してみてください。(Sasaki)

## 弘前大学附属図書館報「豊泉」 第60号

発行日：令和6年11月29日

発行：弘前大学附属図書館

編集：弘前大学附属図書館広報委員会

〒036-8560

青森県弘前市文京町1

TEL 0172-39-3163

FAX 0172-39-3171

MAIL libpress@hirosaki-u.ac.jp

## ◆◆◆◆◆図書館員ちよこっとコラム◆◆◆◆◆

### 『蔵書を減らさず蔵書を減らす』

図書館の書架に所狭しと並べられている本。さらに新着図書コーナーには新しい本が続々と届いている光景を見て、こういう疑問を持ったことがある人はいるでしょうか？

-図書館の本、いつかは溢れてしまうんじゃないだろうか？-

実際には溢れます。現状溢れています。年々新しい本が購入や寄付されて入ってくるため、これらの本を入れるスペースをどうやって確保するかが図書館として頭の痛い問題となっています。

この問題を解決するために医学部分館では1)電子版資料の導入2)他の図書館と連携した相互利用サービスの活用、3)オープンアクセス(OA)化された資料の利用を推進しています。現在医学部分館で重点的に取り組んでいるのは1)と3)です。医学部分館の雑誌書庫には既にOA化され利用者が少なくなった印刷体の雑誌があります。

これらの資料のリストを作成し、PubMed CentralやJ-STAGE、国立国会図書館電子化資料送信サービス等無料で公開されている資料リストとのマッチングを行い、重複している雑誌を整理する作業に取り組んでおります。2022年度には洋雑誌を、2024-2025年度には和雑誌を整理する予定です。その先図書資料も整理したいと考えています。

この方法の問題は、実際に利用できる資料数は減らないものの、統計上の資料数が減少し、図書館の規模が縮小しているように見えてしまうことです。OA化が進行しさらに整理可能な資料が増えるとその傾向は顕著になっていくと思われませんが、医学部分館では「蔵書を減らさず蔵書を減らす」努力を続けていく予定です。今後ともご理解とご協力をお願いします。

(ふじい まさつぐ)

## 論文投稿時の掲載料(APC)支援 2024.1~

弘前大学では2024年1月より、Wiley社及びOxford社との契約において、電子ジャーナル購読料とAPCを包括した転換契約(Read&Publish契約)を導入しています。

これによるオープンアクセス出版支援の詳細については、下記の学内限定ページをご覧ください。

### ◆Wiley社

[https://ul.hirosaki-u.ac.jp/support/teacher/rp\\_wiley/](https://ul.hirosaki-u.ac.jp/support/teacher/rp_wiley/) (※学内限定)

### ◆Oxford社

[https://ul.hirosaki-u.ac.jp/support/teacher/rp\\_oxford/](https://ul.hirosaki-u.ac.jp/support/teacher/rp_oxford/) (※学内限定)

